

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「共通基盤」領域

2. 重点公募テーマ

革新的な知や製品を創出する共通基盤システム・装置の実現

3. 研究開発課題名

質的な知を客体化するドキュメンテーション基盤技術

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

香川 璃奈(筑波大学 医学医療系 講師)

5. 評価結果

評点: S (特に優れている)

総評:

本研究開発課題は、さまざまなシーンでの文書を介した情報共有に際して、人が持つ知識や感性を推定するための要素技術を開発し、言語化し難い文言を補足することで、読み手の理解を最大化し、関係者間での共通認識を持たせる汎用的な仕組みを構築することを目指すものである。

探索研究期間では、電子カルテ・料理レシピ・音楽指導を対象に、言語化が困難なデータから人の知識や感性に関わる要素を推定・抽出し、数値化することで、関係者間での共通認識を持たせる仕組みを具体的なアプリに実装するレベルまで達成したことを高く評価する。

特に、従来の自然言語処理では曖昧な表現でしか記述できていなかったものに対して、認知特性を利用して集合知を具体化するアルゴリズムを構築することで、ポイントを押さえた文章の作成や、認識共有し易くする効果が認められており、当初の計画を上回る成果が認められる。

今後は、電子カルテを始めとする各対象について認知モデルの構築を一層進めるとともに、本技術の確立に向けた知財戦略も考慮に入れながら研究展開を図ることを期待する。

以上